



清田先生の補助で飛行機ごっこ



足と足、手と手でタッチ



お父さん掃除機で床掃除



フープの中をくぐってみよう!



大きなライオンになりきって

親子で楽しもう

～家庭教育講座・親子ふれあい体操教室～

11月17日長内市民センターで「親子ふれあい体操教室」を行いました。講師は清田博美先生。京都府出身滋賀県育ちで、現在は一関修紅高等学校の先生をしています。学生時代に体操選手だった清田先生は、体操教室を通して子どもたちの発達や成長を伸ばす運動の指導をしています。地域のボランティア活動に参加する中で、子どもたち自身がたくさんの人に感謝され褒められるうれしさを感じ、やる気や自信を持てるように促しています。

この日は、保護者向けに子どもの運動や発達についての講義を行った後、清田先生とともに一関修紅

短期大学1年生のお兄さんお姉さんが体操を指導。親子で楽しめる運動遊びや、子ども向けの体操指導などを行いました。「はい! 先生のまねをして～! そうしないと一緒に体操できないよ」と清田先生がテンポよく子どもたちに声掛けしながら、見本の運動を行うと、子どもたちは遅れないように先生に付いていこうとします。先生が「うまい!」「合格!」と褒めると、子どもは「早くもできるよ!」「わたしも見て!」とばかりに先を争うようにマットに飛び込んで行きます。会場は笑顔と元気な笑い声であふれていました。

昔のくらしをしらべよう ～久慈市歴史民俗資料館の見学～

12月4日に久慈湊小学校3年生が、社会科の一環として久慈市歴史民俗資料館を見学し、文化課の職員の説明を受けながら「昔しらべ」をしました。

同館は旧長内中学校を利用しており、製鉄・郷土の偉人・埋蔵文化財・民具などの資料を展示しています。その中で、製鉄と民具の見学をし、製鉄の学習では、昔の鉄づくりの様子や鉄瓶の音の違いを学びました。民具の学習では、昔の道具の写真と実物を見比べて名前を調べたり、使い方を考えて答え合わせをしていました。

子どもたちは、気になった道具について、市の職員に聞いて学習し、触ってよいものには実際に触れて使い方を確かめていました。教科書だけではなく、実際に見て触れることによって、より多くを学べた授業だったと思います。



解説を真実に聞く児童



昔の製鉄の仕組みの模型を観察

中学生が先生代わりに ～冬休みぐんぐん教室～

12月26日、大川目小学校で冬休みぐんぐん教室が開かれました。この教室は、長期休み中の課題に取り組むことを目的に開催しており、今回は1～6年生約30人が参加。学校支援地域コーディネーターが市民センターや大川目中学校にサポーター募集のちらしを配布し、中学3年生4人と地域ボランティアがサポーターとして参加してくれました。

最初は照れて話しかけられずにいた児童たちでしたが、中学生が「分からないところない?」「大丈夫?」などと声を掛け、徐々に打ち解けていきました。終盤は分からないところがあると、小学生から中学生に声を掛けるようになり、勉強を教えてもらっていました。同校では、冬休み中に教室を3回開催し、冬休み期間中の宿題の補助や中学生や地域ボランティアとの交流が促進されました。



勉強のポイントをアドバイス



小学生に宿題を教える中学生

地域で子どもたちを育もう!

岩手県独自の運動として55年間、青少年の心身ともに健全な成長を願い実践している教育振興運動。11月23日にアンバーホールで久慈市教育振興運動実践交流大会が開催され、三崎地区教育振興連絡協議会、大槌町の吉里吉里地区教育振興運動推進協議会が実践内容を発表しました。その後、県立生涯学習推進センターの八重樫譽子社会教育主事と県北青少年の家の古田智研修班長を講師に迎え「情報メディアとの上手な付き合い方～多様な体験活動の提供～」と題し講演。子どもたちの情報メディアの使い方について、周りの大人ができることや体験活動の大切さを学びました。



自然の素晴らしさ・命の大切さ

～12月7日開催 久慈ユネスコ協会創立 50 周年記念講演会～

「今日はなめとこ山の熊さんを連れてきました」と宮沢賢治の童話になぞらえて、ウッドベース奏者を紹介し、会場を笑顔で包む講師の澤口たまみさん。澤口さんは岩手大学農学部で応用昆虫学を学び、虫や自然にまつわる多くの著書を出版。宮沢賢治の後輩として、賢治に関する本の執筆や講演もされています。



ベースの石澤由男さんの演奏をバックに講演する澤口さん

この日は「賢治が『私の文学には音楽が必要なのです』と当時から朗読と音楽の融合を目指していた」ということで、ウッドベースの即興演奏とともに、賢治に関する話や絵本の朗読、命の大切さについて講演しました。

「ユネスコでは『他者を理解しよう』といいますが、大人になってからではなく、小さいころから、人間と違う論理で生きている虫や生き物、自然に触れることが、相手の立場に立って考える最初の練習になります」と自然と触れ合い、大好きなものをたくさん増やして欲しいと説きました。

「大人になっても、虫さんおはよう、お花きれいね。というように、言葉にならない声をキャッチできる感性を大切にしてほしい」と、虫をはじめ全ての生物を大事に思う大切さを伝えました。

子どもの成長と睡眠について

侍浜小学校と久慈湊小学校では、令和2年度に入学する児童の保護者を対象に、子どもの発達と睡眠の大切さについて講演がありました。

講師を務めた岩手大学教育学部の吉田智子先生は睡眠時間が少ないと、情緒不安定になりぐずりやすくなる、引きこもりや不登校になることがあるなど脳の発達や睡眠の効果について、わかりやすく解説。「ぜひ夜8時までに寝させてください。子どもの本質は昔と変わらないので、大人社会の

生活スタイルに合わせることは、子どもの発達にとって良くありません」と伝え、参加した保護者は、子どもにはたっぷりの睡眠と規則正しい生活が大事だと、改めて感じたようでした。



吉田先生の明るい笑顔と語り口に、参加者の皆さんは引き込まれるように聞いていました

アレルギーってなに？

～子どもたちにも知ってほしい

アレルギーについての本の寄贈～

11月に市内各小中学校へ、食物アレルギー児親の会「アレルギーケア.<くじ>」から「科学漫画サバイバルシリーズ アレルギーのサバイバル 1・2」が寄贈されました。「一人でも多くの方がアレルギーについて正しく知って助け合えることができる地域になりますように」という同団体の皆さんの想いが込められています。

代表の日富ます美さんは「この本はさまざまなアレルギーについてわかりやすい内容となっている。一人でも多くの人に読んでほしい」と話していました。皆さんもぜひ一度読んでみてください。

～親子で学ぶ～ 山形町 霜畑の歴史



霜畑の歴史を語る嵯峨さん

11月22日、霜畑小学校で霜畑老人クラブの嵯峨力雄会長による、霜畑地区の歴史についての講演がありました。山形村史編集の委員長を務めていた嵯峨さんは歴史に精通。霜畑には5千年前から人が住み、石器や土器が畑から発見されること、関地区には関所があり、交通の要所として栄えたことなどを話しました。参加者は、出土した土器や石器などに触れ観察。地域の愛着や誇りを持っているような話に、親子で熱心に聞き入っていました。

■内間木洞でイベント開催

【氷筍観覧会】

- ▶日時…2月9日(日)10時～15時(最終受付14時)
- ▶持ち物・服装…汚れてもよい温かい服装、長靴、軍手
- ▶送迎バス…2月5日(木)までに申込が必要
久慈市役所：9時発、内間木：12時発(先着40人)
おらほーる：9時15分発、内間木：12時発(先着20人)

※三脚類を持ち込んだ撮影は、ご遠慮願います

【プレミアム氷筍撮影会】

- ▶日時…2月16日(日)9時～15時
- ▶定員…30人(1時間につき5人まで)
- ※氷筍フォトコンテストにエントリー願います
- ▶参加費…5,000円/1人(食事代・保険料込み)
- ▶申込期限…2月7日(金)

圓山形市民センター ☎72-3711(観覧会・撮影会)

■市立図書館ただいま休館中

久慈市立図書館は、7月に駅前複合施設に移転オープンします。現在の図書館はオープンまで休館。図書を借りている人は、ブックポストに返却願います。(紙芝居やDVDなどは館内設置の箱に入れてください)

【新しい図書館をちょっと紹介】

久慈駅の隣に現在建設中です。図書館は2階と3階。2階は児童書や育児書を取りそろえ、グループ学習ができる学習室もあります。3階は一般書や郷土資料、新聞・雑誌などがあり、落ち着いて読書が楽しめます。貸出冊数は、これまでの倍の10冊。近隣の市町村にお住いの人も利用できます。



スミセイアフタースクールプロジェクト「宇宙の未来」&「ほうかご勉強会」

放課後子ども教室の児童や関係者を対象に「スミセイアフタースクールプロジェクト」が1月19日、中央市民センターで開催されました。宇宙について学ぶ「宇宙の未来」には40人が参加。ボールやロープを使い惑星の位置関係を学習後、シミュレーターでの宇宙探検を体感しました。「ほうかご勉強会」には関係者らが参加。子どもたちの声を大切に、地域・社会・大人を巻き込んだ放課後づくりについて学びました。



ボールとロープを使った惑星の位置関係



さまざまな人を巻き込む放課後づくりを学ぶ関係者

成人式実行委員会の感想



中村 快さん
(実行委員長、成人の証授与)

はじめは「同級生が久慈に残っていないから俺がやろう」という軽い気持ちでしたが、回を重ねるごとに、色々な思いがあふれ、成人の証を授与させていただくことに決めました。これから一社会人として、後輩の見本となるよう頑張りたいです。



栢山 弘多さん
(誓いの言葉)

成人式実行委員、そして誓いの言葉を話すという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

今回の経験を糧として、将来社会を担える人材となれるよう、そして、久慈市を支えられるよう、感謝の精神を持ってこれからも励んでいきたいと思います。



駒澤 菜摘さん
(誓いの言葉、新成人の夢発表)

成人式実行委員をさせていただき、ありがとうございました。令和初の成人式で良い思い出となりました。学生という身分なので、成人という責任ある立場になったことが、まだ実感が湧かないところではありますが、一日一日を大切に責任ある大人になります。



播磨 李香さん
(新成人の夢発表)

今回成人式実行委員会をやってみて、改めて自分の夢を考えることができ、将来と向き合うことができました。

今までは漠然とした大きな夢だったけれど、やりたいことがはっきりと見つかることができた機会になりました。ありがとうございました。